

## 知事との県民対話集会（筑北村）概要

- ・開催日時 令和5年8月21日（月） 午前10時30分から正午まで
- ・会場 筑北村本城農村環境改善センター 1階多目的ホール
- ・参加者 県民40名、太田筑北村長、阿部知事、宮島松本地域振興局長
- ・テーマ 住民・企業と創るこれからの筑北村～スマートインターチェンジを活用した地域振興～

### ・主な発言（要旨）

#### 【参加者】

・スマートインターチェンジの開通により村へのアクセスが向上する。2028年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機に、各種大会の開催を検討してほしい。また、村のスポーツ施設の合宿等への利用、各競技大会の開催基準を満たすための施設改修などに対する協力をお願いしたい。

#### 【知事】

・長野県は、2028年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催県として内定している。大会自体がよいものであればいいというだけでなく、開催に至るプロセス、開催後にスポーツ文化が根付くことが重要。できるだけ多くの皆さんにボランティアを含めて協力していただけるような形をつくっていききたい。

・地域への部活動移行に向けた受け皿としての人材や場所も十分ではない。周辺地域から人を受け入れることなどにより施設の有効活用が図れるのではないかと思う。その際、学校単位での受入れだけでなく、個人レベルでスポーツをしたい方も楽しめるような環境が必要であると思う。

・施設改修について、ユニバーサルデザインの視点も必要。過疎債などの活用も検討してほしい。

#### 【参加者】

・バス観光業者として、村が通過点にならないよう努力している。子どもを含めた定住人口や観光客の増加に向け、荒廃農地対策や桜の植樹による景観の向上、宿泊施設の整備やホテルの誘致などが必要と考えている。

#### 【知事】

・景観については、どのような地域にしていきたいか、地域の皆さんでコンセンサスを得ることが大事だと思う。

・人を呼び込むためには、移動手段の確保が必要であり、鉄道・バス路線を持続可能な形にしていくこと、そして、過疎地域では、地域の支え合いの取組が重要であると思う。

・地域の強み、これは負けないというものを打ち出すことが大切。スポーツ振興を地域のコンセンサスを得て進めていくことはよいと思う。地元にはウェルネス高校があり、地域を元気にしていく鍵の一つは教育でもあることから、盛り上げてほしい。

・宿泊施設の改修については、観光庁の補助金などがあるので活用を検討してほしい。

#### 【参加者】

・人口減少、担い手の高齢化により、管理できない農地が増加している。手狭で荒廃した農地には借り手もつかないことから、手間がかからず、景観にも配慮された農作物の栽培など検討いただきたい。

#### 【知事】

・新規就農者の増加のためには、農業に関心を持つ若い世代を増やさなければならない。高校の農業学科や農業大学のあり方をもう一度考える必要がある。

・栽培品種については、どういう農村地域を目指すかによると思う。何をターゲットに農村振興していくか考えていかないといけない。大切にしたいのは食の安全性と地産地消。この地域に何が適しているのかなど、農業農村支援センターと一緒に考えてもらいたい。

・地域の人が話し合い、農地として維持すべきかなど、土地の利用について考えることが必要であると思う。

**【参加者】**

・信州そばについて、そば粉のコンクールの実施や県内産のそば粉の優位性をデータで示すことなどによりブランド力を高めることができないか。また、インバウンド層は、うどん、ラーメン等に比べてそば食への関心が低い。食べ方やマナーなどについて、インバウンド向けの分かりやすい案内を用意することで、海外からの旅行者の消費増につながるのではないか。

**【知事】**

・信州そばは、一定程度認知されていると考えているが、どのように活かしていくのかということは重要な視点であると思う。  
・外国人にそばのよさを語れる人が少ない。インバウンド向けのPRを一緒に考えたい。

**【参加者】**

・事業承継に関する調査を実施したところ、廃業を検討している事業者が少なからずある状況が分かった。県には事業承継に関するきめ細かな支援をお願いしたい。スマートインターチェンジの開通を契機に、地域が発展する取組を進めていくことが急務であるが、中山間地域で企業誘致や地域振興などがうまくいっている事例があればご教示いただきたい。

**【知事】**

・事業承継に関して難しいのは、承継の必要性についてオープンにならないこと。県と日本政策金融公庫で、承継してほしい企業と継ぎたい人をつなぐ取組をしたところ好評だった。地域で情報を出してもらうことが重要であり、地元の人に仲介に入ってもらって話を進めていくことがよいと思う。  
・（地域振興などについては）県内では、飯綱町のりんごを中心とした取組や辰野町の空き家の活用など分野別では特色ある取組がある。県外でも参考になる取組があり、そうした地域に学ぶこともあるのでないかと思う。

**【参加者】**

・松くい虫の被害が深刻である。信州F・POWERプロジェクトでの被害木の有効活用などの対策をお願いしたい。

**【知事】**

・森林資源、松枯れ被害木の有効活用は重要である。林業の担い手充実、流通ルートの確立について問題意識を持って取り組んでいきたい。

**【参加者】**

・鹿などが増え、農業への被害がひどく、柵がないと何も栽培できない。  
・高齢化が進み、鳥獣被害を防止することが困難となっている。森林の荒廃も原因の一つと考えられる。根を断つような抜本的な対応をお願いしたい。

**【知事】**

・山林と農地を含めた地域の土地利用の計画をつくることは大切である。農地の配置のあり方は大きなテーマであると思う。  
・森林整備や野生鳥獣の駆除などに長けた方が減少する中で、抜本的な対策を考える必要があると思う。